



第59号 広報なかのしま 昭和53年4月15日(16)

中越大会出場を…

女子部員の充実で



グループしようか

バドミントンクラブ

雪どけをまつて、三月から練習を開始したバドミントンクラブ。

毎週水・金曜日に公民館に集まり、八時（夜）から二時間の練習に汗を流している。

見た目には案外と楽な？スポーツに映るが、ラケットを持つてやつてみると相当ハードなスポーツである。

バドミントン——あ。羽根つきネ。と、お年寄りでも小さな子どもたちでも知っていたり、また、手にしたりしたことも多いスポーツ。でも、なぜかその層は狭い。

当クラブは、部員が十四名（うち女子二名）と数では多くない。しかし、「この講堂では一面しかコートがとれないため、現部員で手いっぱい。基礎練習のあとは、いつもダブルスで試合形式をとらないとダメなんです。」

「君たちの入部を心から歓迎する」と、部員一同

西原部長は部員を増やせない現状を話す。「でも、中央小体育館の一般開放がもうすぐで

すから、そしたらそこで思う存分やれると思います。」一般開放に併せて部の強化・充実を図る計画という。

「女子部員が欲しいんです……」と部員たち。ここぞつと青年団の郡大会では「二位どまり」——女子部員が少ないことが最大の敗因らしい。

郡大会で優勝し、「中越大会出場」するのが最大の「目標」。そのためにはなんとしても、女子部員の強化を図るのが当面の課題、という。

「バド好きの、女子諸君」。

「この講堂では一面しかコートがとれないため、現部員で手いっぱい。基礎練習のあとは、いつもダブルスで試合形

第59号 広報なかのしま 昭和53年4月15日(16)

広報

なかのしま

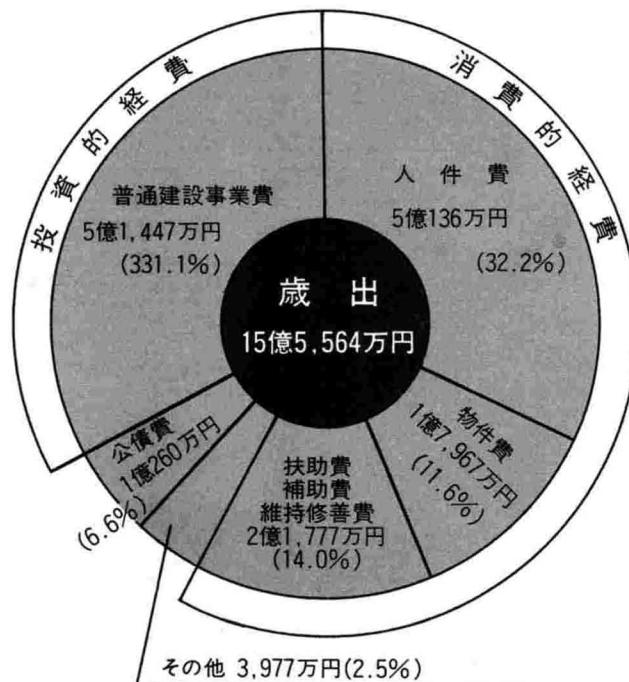
4月号 南蒲原郡中之島村役場

編集と発行 中之島村役場企画課
〒954-01 ☎02586(6)2002



として保存しましょう

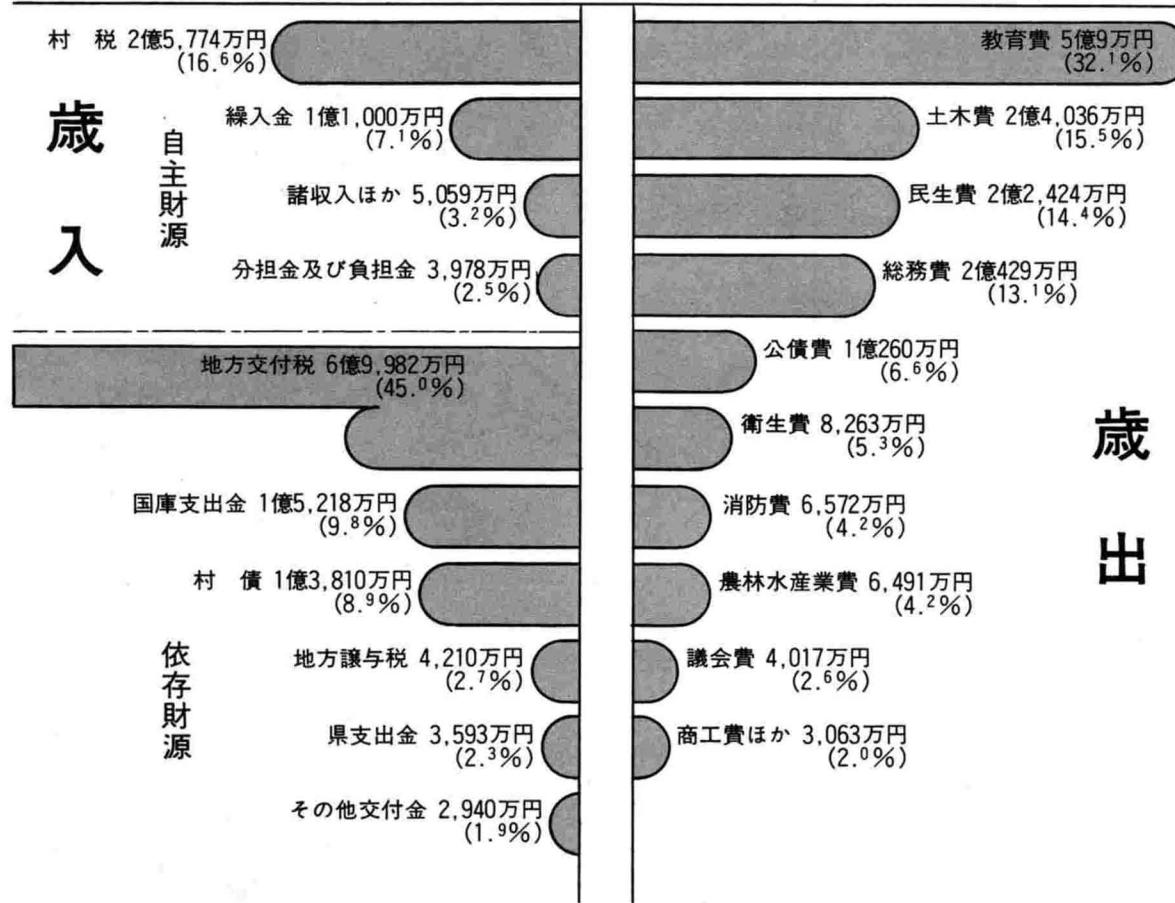




十五億五千五百六十四万円
一般会計予算が三月定例議会で議決されました。
そして、四月からこの予算で五十三年度が始まったわけです。
前年度に比べ八・四%の伸びは、前年度の伸び率三〇・二%を大きく超えました。前年度に比べ八・四%の伸びは、前年度の伸び率三〇・二%を大きく超えます。

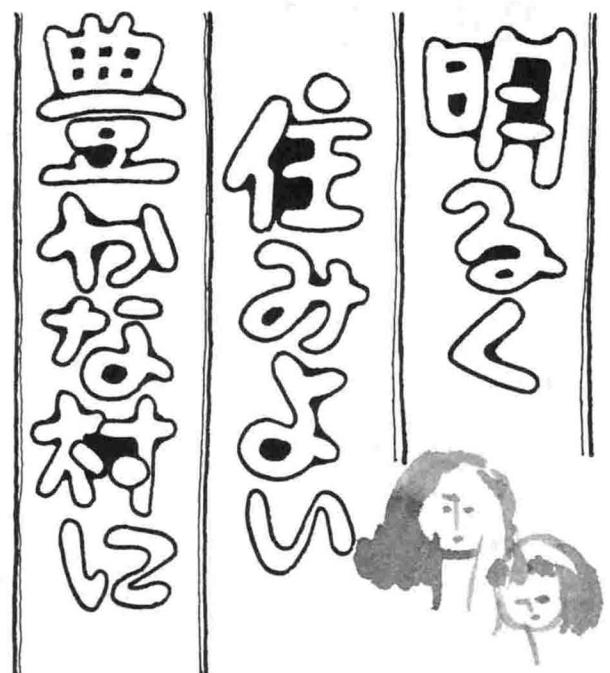
上回りましたが、これは前年度において中央小関係の事業費が増えたこと、農道整備事業関係の予算を当初において計上したため、大幅な伸びとなつたのです。むしろ内容においては、前年度以上に充実したものです。前年度以上と確信しております。

一般会計 15億5564万円



53年度 一般会計予算

**15億
5,500万円**



53年度予算—伸び率でみると

| | 53年度予算 | 52年度比較 |
|---------|------------|--------|
| □一般会計 | 15億5564万円 | 8.4%増 |
| □国保特別会計 | 4億3044万9千円 | 16.0%増 |

一般会計予算の性質を数字でみると

- 投資的経費の割合—— 5億1447万5千円 33.1%
- 消費的経費の割合—— 8億9881万1千円 57.8%

歳出

昭和53年度の 予算編成の基本姿勢

- 健全財政を堅持し赤字は出さない
- 予算の重点的配分と計画的な執行—実施計画の諸事業を優先して執行
- 予算の効率的な執行—経常的経費の節減、投費的経費の充実

4つの重点施策

- ①教育施設の整備充実
- ②住みよい生活環境の整備
- ③産業の振興
- ④福祉の充実





② 住みよい生活環境の整備



生活道路に重点 改良23・舗装11路線を

□道路整備は、本年度も最重点施設のひとつです。学校建設、プール造成の大きな事業をかかえていますが、みなさんからもっとも要望の強い生活環境の整備に力を入れ、とくに生活関連道路整備に力を入れます。

内訳では、改良23路線、舗装11路線に1億5,580万円。で、その中でもとりわけ2級8路線、その他23路線と直接みなさんと関係の深い生活道路に重点をおきました。

□都市計画事業についても、事業が大幅に増加するものと考えられます、完全消化の予定です。事業費の決定をまって早期に予算措置します。

□交通事故ほどいたましいものはありません。ことしもできるかぎり予算をとり整備します。ガードレール、カーブミラー、道路照明、白線などに1,037万円

□村道の維持修繕工事、補修用砂利等購入費に合わせて2,200万円

□県道の工事費負担金として580万円

□中之島のバス回転場を舗装します 130万円

ことしの秋、北陸高速自動車道の新潟・長岡間が開通します。高速道路における交通事故の発生が予想されることから、この救急業務に対応するため、旧役場跡地に分遣所の設置が本年度中に行われます。

□与板郷消防事務組合の負担金に3,914万円

その他、村の消防団関係費に1,433万円

□消防施設の整備充実を年次計画でやっていますが、今年は40t級防火貯水槽1基、10t級10基分の補助金として合わせて420万円

□消火栓新設(11基分)及び給水施設工事に435万円

その他修繕料などに250万円

交通安全にも十分配慮

□交通事故ほどいたましいものはありません。ことしもできるかぎり予算をとり整備します。

ガードレール、カーブミラー、道

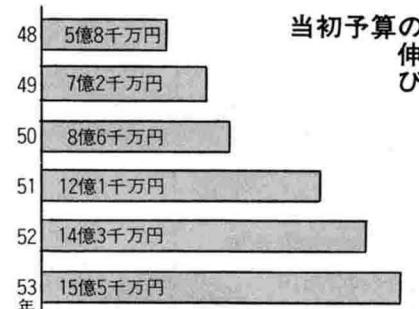
路照明、白線などに314万円

□県知事選挙に111万円
農業委員選挙に124万円

村民一人あたり

一般会計予算13万9,269円

| | |
|--------------|---------------|
| 教育費 4万4,771円 | 衛生費 7,397円 |
| 土木費 2万1,518円 | 公債費 9,185円 |
| 民生費 2万0,075円 | 農林水産業費 5,811円 |
| 総務費 1万8,288円 | その他 1万2,222円 |



① 教育施設の整備充実

中央小53年度で全て完了

小学校

道路と並んでここ毎年力を入れているのが、教育施設の充実です。中央小学校の校舎完成に引き続いて、屋内体育館の建設を52年度より継続事業でやってきましたが、これも5月には完成予定です。これに必要な建設事業費、体育備品類の整備に1億9,881万円

□中央小グラウンドの整備、校舎前舗装、消雪井戸配管工事に5,000万円

□スクールバスも5台になり、現在の車庫では入れきれず、新しく車庫を建設します。630万円

□中央小に自転車小屋を60万円

□中央小の備品購入費として568万円

信条小の 改築用地を確保

□残った信条、上通小学校については、中央小学校との教育環境の格差を解消するため、年次計画により整備を進めていきます。

まず、危険度の高い信条小学校の改築を54年度から3か年計画で整備します。そしてことしは用地取

得を行い、造成をします。2,360万円

上通・信条小にプール

□上通小のプール用地を取得します。561万円

□そして、上通・信条小の両学校に、今夏までにプール(25m×10m)をつくります。4,190万円

□信条小の水道加入金に120万円

□中之島中学校の臨時営繕に273万円

そのほか両中学校の経常営繕に100万円

□自転車通学生のヘルメット購入補助を4万円

□通学費を補助します51万円

社会教育

□社会教育を年々充実させるよう前年度に引き続き高齢者学級、青年学級、家庭学級などを実施し、内容の質的向上に努めるよう、これに必要な予算措置をしました。

□村内にある貴重な文化財の保護と調査研究に力を入れます。

□昨年秋にオープンしたスポーツ広場の整備・充実を図るべく予算措置しました。

□西所・三沼分館に野球用バックネットを取り付けます。34万円

□公民館活動の基である分館活動の運営がスムーズに行えるよう交付金を助成

□中央小体育館はバレーコート2面となる大きさです。スポーツを通じて地域住民の連帯感の高揚を図るよう積極的に一般開放していきます。



中央小のプール工事も急ピッチで……



▶中野小学校



ごくろうさま.....

さよなら 我が母校

「さよなら我が母校」。
各小学校から記念のスナップを
一枚づつ寄せました。



▶中通小学校

この体育館で、このピアノで、みんな
とうとう歌声はもう聞えない。

▲中条小学校
昭和52年度第32回卒業生14人。
"君たちが最後の卒業生だね"

▼中之島小学校

最後の校歌を、大きな声で力いっぱい歌いました。



▲石油資源開発株が村内の地質を調査
石油が出るかって？「うーん、まだ（結果がでないから）
わかんないよ」

昭和52年度で総合の4か校が
閉校した。
閉校式典の一つ一つに、百余
年の伝統と歴史が思い起こされ、
子どもたち、先生、それに父兄
の方々の目にまつしか涙が…



▼記念樹

中之島小の52年度卒業生30人
が、卒業記念にと中央小前庭に
ヒマラヤシーダ12本を記念樹と
してプレゼント。



▲開校式

17学級・546名の児童が中央小学校の歴史の第
1ページです。児童を代表して下田かず子さん
が「不安もショッピリありますが、喜びと期待
でいっぱい。これからは一生けんめん頑張ります」と
喜びのことばを述べました。



◀火災防止にパレード

「火災発生の時期を迎えました。火の取り扱いには十分気をつけましょう。」四月三日、郡内の消防団が七台の消防車を連ねて村内をパレード。

▼運行記念に“花束”

部落はじまって以来のバス？（スクールバス）の運行に地元は大感激。入学式の4月5日、第1便の運転手に子どもたちから記念の花束が贈られました。



